



広報みまた



晴天に恵まれ体育大会

今年度の町民体育大会は
11月2日秋晴れのすがすがしい好天候に
恵まれ旭ヶ丘運動公園に約5000人の参加
で盛大に開催されました。

写真は、男子3000m競争のスタート

55/11月号

三股町功労者表彰式

菊花香る十一月三日「文化の日」に、本町役場大講堂に於いて功労者七名と団体の表彰式が挙行されました。

表彰式には町三役、議会議員等をはじめ、教育委員、地区公民館長、職員ら約五十名が参列して行われました。式は表彰のあと議長及び教育委員長の祝辞が述べられ、最後に受賞者を代表して下新の桑畑政治氏が「身に余る光栄です。私どもは



功労者7名、1団体を表彰

自分と与えられた職務を遂行しただけで賞に値するようなどきはないと思います。しかし私どもの下積みな職務が皆さんに認められたことは非常にうれしい限りであります。今後とも、地域社会や団体活動の発展のために、微力ながら尽力したいと思います。」と、お礼のことばを述べられました。その後記念撮影などが行われましたが、受賞者はお互いにこれまでの労をねぎらいながら暗れの受賞をよるこんでございました。受賞者名及び功績は次のとおりであります。(順不同)

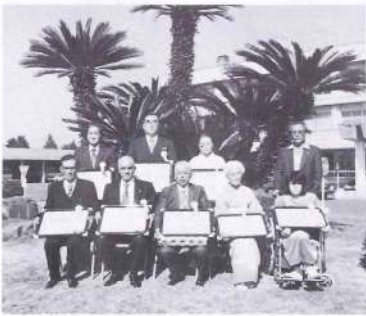
桑畑政治氏 下新 産業部門 氏は昭和三十一年より早馬下用水路組合長、山新土地改良区副理事長などを歴任され、本町の土地改良事業の推進並びに農業近代化のために貢献された。

上米麦作集団 代表下西政則氏 上米麦作集団は、昭和四十九年に集団結成以来、受委託作業等によって規模拡大を図り、今回九州地区麦作共励会で一位になり、全国麦作共励会でも上位入賞が確定した。

福永春夫氏 蓼池 産業部門 氏は昭和二十五年町商工会発足当時から現在まで実に二十七年間、役員として活躍され、同時に都城米穀商業協同組合の理事も歴任され、本町商工業の発展と、地域経済発展に貢献された。

康増進 健康意識の高揚のために貢献された。

福田秀光氏 上米 社会部門 氏は昭和四十四年より現在まで民生委員として、寸暇をさいてあらゆる援護、更正活動に積極的に取り組み、社会福祉事業の発展向上に貢献された。



青少年を健やかに

今月は青少年健全育成強調月間

今月は全国青少年健全育成強調月間として、青少年の健全育成のため国をあげていろいろな運動や事業が進められています。

青少年健全育成町民会議では、この月に限らず次の事項を中心に青少年の健全育成を推進しています。御協力をお願いします。

健全な家庭づくり

家庭は青少年の生活の基礎的習慣や価値感などを育てる重要な役割があります。この機会に親子の相互信頼と対話を深め、心のふれあう楽しい家庭づくりを推進しましょう。

非行防止活動に取り組みよう

近年の非行の特徴は、「遊び方非行」が多く、全国的にも凶悪犯が増加しています。また低年齢化の傾向が強まっていますので、家庭や職場、地域等で非行防止活動に取り組みましょう。

窃盗、薬物乱用を防止しよう

窃盗や薬物の乱用は県下でも本町でも増加の傾向にあります。



こない運動を推進しよう

住民一人一人が家庭や地域で、子供に対する関心を高め、防止活動を積極的に推し進めましょう。

これは悪い読み物を「見せない、貸さない、売らない」運動を推進しようとするものです。同時に悪書類の自動販売機に電源を貸さない、売らせないとします。現在本町にはこの自動販売機はありませんので今後皆さん方の御協力をお願いするものであります。

国勢調査

人口一万七千七百九名 五千三百九十三世帯

先に行われた国勢調査において概数がわかりましたのでお知らせします。

この調査は五年に一回、十月一日を基準として調査されるものでこの調査資料は、国や県、また町村などで作成する基本計画や、あらゆる統計の基礎となるものです。今回の調査によりますと、本町の人口一万七千七百九名で、前回の昭和五十年と比較しますと、千九百二十名の増加で、年平均三百八十四人となっており他の町と比較しても人口増加の激しい町村になります。

固定資産税について

(続前号より)

今回は固定資産台帳に登録される土地家屋の評価額の算出方法について申し上げます。固定資産については昭和38年全面改正が行われ、土地家屋評価基準が示され、これに基き評価し決定することになっております。

休館のお知らせ

町立図書館では、蔵書整理点検のため次の期間は休館いたします。皆さんに御迷惑をお掛けいたしますが、御協力下さい。

十一月八日(火曜日)から 十二月二日(火曜日)まで

町民体育大会



高校生リレー



選手代表宣誓

旭ヶ丘運動公園陸上競技場に於いて開催された、町民体育大会は子供から老人まで、その名のごとく、町民総参のもとに大会の気運は最高に盛り上がり、過年にない充実した楽しい大会でした。
また11月3日行われた青年

祭も、素晴らしい芸能を披露し、観覧者を楽しませてくれました。

町民体育大会の成績は次のとおりでした。

- 優勝 第2地区
- 半優勝 第3地区
- 第3位 第4地区



聖火点火



40才代リレー



40才代(女)心あわせて



40才代リレー



人生リレー(女)小学校1年のスタート



ムカデ競争



20才代リレー

青年祭も賑わう



小学校高学年リレー



フォーク演奏



賑やかな応援風景



ゲートボール



コーラス



俵おどり



30才代障害物競争



20才代(女)旗運搬

町の話題



石坂正行氏と和田正利氏 第7期和牛品評会
今年度最後の和牛品評会は10月23日行われ成績は次のとおりでした(子牛優等のみ)

■メスの部	中村宗春(田上)	村尾伍見(大さ)
石坂正行(横田)	東 泰美(前目)	高野 直(藪池)
室村シズミ(藪池)	飛松ヒサエ(仮屋)	
橋口 梓(藪池)		
■去勢の部	山中利弘(藪池)	小牧 八平(森木)
和田正利(谷)		
宮田重雄(樺山)		



着々と工事が進む 餅原児童プール
餅原地区の中心部、餅原納骨堂の近くに、餅原児童プールの建設工事が着々と進んでいます。
この児童プールは鋼製で、低学年用と高学年用に分かれています。
総工費は1655万円です、主体工事を小倉建設、給排水工事を国分水道が請負い、計画では今月中に完成の予定です。また隣りにある児童遊園とのつなぎ階段等も設けられ、来年にはきっと子供の賑やかな声が聞こえることでしょう。



盛大に町福祉大会
町社会福祉協議会(会長比江島一夫)では、老人クラブ、母子福祉会、遺族会、民生委員合同の福祉大会を開催し楽しいひとときを過ごしました。
参加した約1000名は各団体や各地区毎にチームを編成し、ビン倒し競争など13種目を和気相々のうちに、しかも自分の体力に応じて技を競いました。
これより先に老人クラブ連合会では総会を開き、功労者や協力者など3名を表彰しました。



幼児や家族を交え 老人ホームで運動会
老人ホーム清流園(園長桑畑則雄入居者49名)では10月14日運動会を開催しました。
毎年応援参加をしているわかば及びびりんどう保育園の幼児約80名も元気一杯に走ったり、ゆうぎを披露して入居者の歓声を浴びていました。
今年は特に入居者とその家族の聖火リレーと名付けられたリレー式の団技が取り入れられて、入居者も家族もなごやかな交流の場が出来たと大変よろこんでいました。

乳牛雄子牛の育成事業実施へ
今年度からの新規事業である乳牛雄子牛の肥育素畜供給事業が、軌道に乗っています。
この事業は安値で取引されている生後1週間程度の乳牛の雄の子牛を、65才以上の経験者に飼育して戴き、肥育農家の素牛として供給するものです。尚この乳牛雄子牛を育成される65才以上の方には、1頭当り3万円の補助金が交付されます。



防犯運動を呼びかけ 町長らが種子を配布
町防犯協会(町、少年補導員、都城警察署等合同)では去る10月11日から始まった全国防犯運動期間初日に、防犯に対する住民の意識を高める為に通行人に花の種子を配布し防犯運動への参加を呼びかけました。
この日朝7時から関係者18名が参加して三股小前の交差点で約2千袋の種子を通行人に配布しましたが、通行人は思わぬプレゼントを手に防犯運動への参加を誓っていました。



文化講演会を開催
町では去る10月30日文化祭行事の一環として文化講演会を開催しました。
これは県貯畜推進協議会の後援によるもので中央から講師に笹淵金二氏(経済評論家)を招へいして町内の各種民主団体の関係者約60名が出席しました。笹淵氏はこれからはゆとりのある生活をしなければならない時代になって来るので、その為には、自分の年収額程度は貯蓄しなければならないだろう。そこから生活のゆとりが生まれるのだから……と話しておられました。



大河内利雄氏の胸像完成
かねてより建立計画を進めていた大河内利雄氏の胸像がこの程完成し、去る10月29日胸像除幕式がおごそかに行われました。
この胸像は旭ヶ丘運動公園の陸上競技場入口の横に建立され、除幕式には大河内利雄氏夫妻の他約50名の関係者が参列しました。
氏は、昭和21年より48年まで町長を歴任されるなど町政発展に多大の功績を残され、現在本町の名誉町民でもあります。



季節の話

食

ふだんから健康のため食生活に気をつけている人でも年末年始になると、つい警戒がゆるみがちになります。健康な人なら、一度や二度不摂生をしても、生活を元に戻せば問題はありませんが、健康に問題のある人はそうはいきません。高血圧と食塩はその例といえましょう。

そこで年末年始の食生活の注意事項を少し。日本人は食塩をとり過ぎています。現在農村では十五〜十八グラムの食塩をとっています。

高血圧にならないように、またなっている人はそれ以上悪化させないようにするため一日八グラムに抑えましょう。これは日本人にとってはかなり薄味です。

しかし薄味にすることで高血圧の人の血圧値はかなり低く保たれるようになっていきます。

おせち料理は塩分をなるべく薄くする。ごまめもしょうゆを少なめに、酒やみりんを多く加えるよう工夫する。雑煮は具を多く入れてみその量が自然に少なくなるようにしてもらいたいものです。

住

年末はいろいろと雑用が多いものです。その雑用に追われて、押しつまってから掃除をしようと思っても無理なものです、そんなときのために、要領よくできるインスタント掃除のコツを少し述べますと

まず、門から玄関にかけて門灯や標札の汚れを点検します。戸外の汚れは水洗いや水ぶきできれいになるものが多いので簡単です。玄関の床は使い捨ての布でぞうきんがけをするとあか抜けした美しさになります。家上がったお客さんは居間に通すことになるでしょうから、居間のガラスはきれいにふいておきます。

お客に「ちよつとお電話を拝借」と言われた時のために、電話機とその周囲をきれいにしましょう。トイレは急いで掃除をするときはガラスクリーナーを使うと、トイレも金具類もきれいになります。

トイレは狭い場所ですからタオル、せつけん、スリッパ、トイレカバーなどの色を統一するとすっきりします。

健康

師走も半ば過ぎとなると、食事の時間もないほど多忙な毎日になります。この空腹が、まずいけません。イライラして、たばこばかりふかしたり、コーヒーをがぶ飲

みしたり……。おまけに忘年会のアルコールとききます。師走は「胃の用心」の季節といえます。

胃袋は長年の習慣で、決まった時間になると、食べ物を受け入れる態勢を整え、胃液を盛んに分泌します。食事を抜くと、出てきた胃液は働きようがなくなり、ちよつとしたはずみで胃壁を守る粘液の分泌がうまく行かなくなつて、たちまち胃袋が直接胃液の攻撃を受けることになります。

その結果、胃の中がただれたり、かきようができて出血さわぎにまで発展したりします。

食事を抜くことは、胃袋との約束をすつばかすことになります。「この約束違反が殊のほか悪い」とよく言われるゆえんです。

師走の健康法は「先ず腹ごしらえ」からのようです。

一般寄付

大鷲巢の故大盛達也君が、生前に貯蓄されていた、金三万一千二百二十六円を社会福祉事業に役立てて下さいと寄贈されました。

大河内胸像建立委員会から、工事費の残額、金一万四百四十円を社会福祉のために寄贈されました本当にありがとうございます。

愛の二寄付

昭和五十五年九月二十六日より
昭和五十五年十一月十日まで

寄付者	故人名	地区	金額
尾辻清春娘	美奈子	植木	一万円
福田輝男母	イロ上	米二、五万円	
飯田一徳子	正一中	米	二万円
最上川虎信母	ハツエ	寺柱	一万円
上西スナ夫	栄上	米	二万円
小牧ハナ夫	純尊	森木	三万円
松元秋吉母	フミ	夢池	三万円
大盛義治子	達也	大サ	一万円
有村三千男父	重善	山王原	五万円
川原ミネ夫	与八	上米	二万円
吉川ケサ夫	正一中	米	三万円

今月の納税
固定資産税
第3期

三股町の人口

昭和55年11月1日現在

人口17,707人	出生	20人
男 8,436人	死亡	7人
女 9,271人	転入	43人
	転出	58人
	国調	+105人
世帯数 5,393戸		
	前月比	+103人